

一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会
平成 25 年度 第 2 回理事会議事録

日 時 平成 26 年 3 月 9 日 (日) 14 : 00 ~ 14 : 45
会 場 聞法会館 3F 会議室
出 席 者 [現在数 10 名、定足数 6 名、出席者数 6 名]
理事長 荒巻禎一
理事 八木 茂、大西孝雄、柳澤 傳、篠田恒夫、中村三之助
監事 石田松太郎
欠 席 者 理事 羽生田寂裕、吉田忠嗣、北尾哲郎、川西通夫、
監事 小林哲夫
参 席 者 評議員 山崎伊佐緒

議 案 第 1 号議案 平成 26 年度 事業計画の承認の件
第 2 号議案 平成 26 年度 収支予算の承認の件
報 告 事 項 ・理事長・常務理事の職務執行状況の報告の件
開 会 宣 言 奥村事務局長より開会宣言。

挨拶 荒巻禎一理事長よりご挨拶

◇ 本日の主な議案は、平成 26 年度本会の事業計画及び収支予算の審議です。

平成 25 年度を振り返りますと、京都連盟では第 16 回日本ジャンボリーへ 338 名の派遣が行われました。

本振興会では世界スカウト財団名誉総裁カール 16 世グスタグ・スウェーデン国王の入洛による、第 66 回ワールドベーデン-パウエル フェローシップ晩餐会の後援団体として、地元京都地域から招待者を含めて 160 名を超える方々のご参会に関して協力を行うとともに、最終日に下鴨神社境内「糺の森」で開催された京都連盟創立 100 周年スカウトラリーをサポートし、グスタグ名誉総裁以下 BP フェローシップメンバーをお迎えし、京都のスカウト達との交流会を成功裡に終えることができました。グスタグ国王陛下から今回のもてなしに対して称賛のお言葉を頂戴しました。これもひとえに皆様のご協力の賜物と感謝します。

平成 26 年度は、本振興会が主体的に実施する事業として次年度京都連盟が 100 周年を迎えるにあたり、ボーイスカウト運動が地域社会の教育力として認知される諸施策に、京都連盟と共に着実に取り組みたい。

【会議議事手続】

- ・ 理事定足数 6 名に対して、出席 6 名により、理事会成立。
- ・ 議長は定款第 35 条により荒巻禎一理事長が就いた。
- ・ 議長は議事録作成者を次の通り任命した。 八木 茂常務理事

[第1号議案] 平成26年度 事業計画の承認の件

[第2号議案] 平成26年度 収支予算の承認の件

議長は第1号議案「平成26年度事業計画の承認の件」と第2号議案「平成26年度収支予算承認の件」は、一括審議したいと出席役員一同に意見を諮ったところ、出席役員全員一致で承認された。

八木常務理事より、同議案につき、別紙事業計画書・収支予算書に基づき内容説明及び諮問がなされた。

次年度京都連盟が100周年を迎えるにあたり、ボーイスカウト運動が地域社会の教育力として認知される諸施策に、連盟と共に着実に取り組みたい。本日、連盟の協力を得て開催する京都スカウト活動報告会を定例化するとともに、指導者養成のためのプログラム企画運営事業において、地域の有識者の方を講師として招聘し、講演会等を予定している。講演会では、ボーイスカウト関係者のみならず、一般の参加者も歓迎し、現代社会における青少年育成の指導者としての素養を涵養することを目的とした内容としたい。

(1) のボーイスカウト行事等に対する助成協力事業に関して、具体的な事業費の項目につき、概括的に説明をさせていただきます。

事業費として1,400千円を見込んでおります。この事業費のうち1,300千円は、例年執行しています日本ボーイスカウト京都連盟の26年度事業費予算のうち、進歩費、国際費、安全費、環境費、コミッショナー費、イベント費等に必要となる事業費に対して助成するものです。

その他の事業費としては、100千円を予定しています。この新規の事業費は、ローバースカウトのコースネットワーク（略称KYN）を助成するものです。

このKYNは、昨年、ローバースカウトが団・地区の垣根を越えた活動として、自発的に発足させた組織です。昨秋の世界財団のイベントでの運営の実務を担当してくれ、その活躍がクローズアップされました。しかし大学ローバーの立命・産大・大谷など連盟登録が継続されていなく衰退傾向にあります。ローバースカウトはスカウト教育の最終部門、スカウト活動を続けたロールモデルであり、後輩スカウトの憧れの的であります。

そのスカウト同志がお互いに切磋琢磨することにより生まれた熱意や経験は、所属団に還元できると思われまます。

地域コミュニティにおいて、活力ある青年ローバースカウトが社会参加することは、昨年、本振興会が開催した指導者セミナーで講師として招聘した元逗子市長で龍谷大学教授の富野暉一郎先生の講演の締めくくりにあった「少子高齢化の進む社会で持続可能な社会の構築に向け、地域の住民や企業が絆を深める必要がある。その中でボーイスカウトのボランティア活動が社会の活力を生み出す「自助共助」の仕組み構築のひと役になって欲しい」ということの具現化の一步になるのではと考えています。

KYNの活動が、京都連盟100周年に向けて、ボーイスカウト運動の地域社会の教育力としての一般の方々の認知に繋がることを期待したいので、新規の助成金として予算化を考えました。

(2)の青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業について

本振興会が所有する広河原野営場の維持管理費用として181千円予算化しています。

また、広河原野営場近隣における舎営施設土地建物の取得または賃借を予定している件に関し、所有者との交渉を継続すること、購入または賃借条件等については、業務執行理事に一任して頂きたい。

(3)の青少年指導者養成のためのプログラム企画運営事業について

本日京都連盟の協力を得て開催する京都スカウト活動報告会を定例化するとともに、地域の有識者の方を講師として招聘し、講演会等を予定している。

講演会では、ボーイスカウト関係者のみならず、一般の参加者も対象とし、青少年育成の指導者としての素養を涵養することを目的とした内容としたい。

予算的には、200千円を予定している。

(4)の国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動支援のための共催事業について

ボーイスカウトを対象に海外キャンプへの派遣、国際協力プロジェクトの派遣等への支援費用等の実施を予定している。

(5)のボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業について

ホームページによる情報発信機能の充実・増強を通じて、

【26年度重点取り組み】

- ・地域社会への京都ボーイスカウト活動の周知
 - ・各団活動紹介によるモチベーションの向上
 - ・新規入団者の促進支援
 - ・一般財団法人としての情報開示、コンプライアンスの確立の達成を目指す
- 事業予算として、550千円を見込んでおります。

以上で説明を終わります。ご審議の程、宜しくお願い致します。

議長は出席役員一同に質問及び意見を諮ったところ、出席役員全員一致で承認、可決された。

【報告事項】

- ① 山崎県連コミッショナーの方から、昨年末12月15日(日)に発生した京都第8団ボーイスカウト隊13名の滋賀県・皆子山での一時遭難事故の状況報告と再発防止策についての報告があった。
- ② 理事長・常務理事の職務執行状況の件
荒巻理事長及び八木常務理事からそれぞれ職務執行状況について、説明がなされた。

議長は出席役員一同に質問及び意見を諮った。

以上を以って、議事並びに報告をすべて終了し、議長は閉会を宣した。

この議事録が正確であることを証明するために、出席した理事長および監事は次のとおり記名押印する。なお、軽易な文言の修正は、理事長に委任する。

平成 26 年 3 月 9 日

一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会

理事長

荒 卷 禎 一

Ⓜ

監事

石 田 松 太 郎

Ⓜ

議事録作成者 一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会
常務理事 八木 茂